

Close up

だて



— 子育てのように  
愛情をこめて —  
冬野菜「ほうれん草」の栽培

せい の り よし  
清 野 賢 美さん  
(東関内町)

12

月に入ると、北海道は本格的な冬を迎えます。その中で、冬の訪れが遅く降雪量が少ない温暖な地として知られている伊達市。この気候を生かして、市は数年前から「冬野菜」の取り組みを進めています。

年々、この取り組みに賛同し冬野菜の栽培に従事する農業者が増えていて、今回お話をうかがった清野賢美さんもその一人です。

清野さんは、父親が農業者で「農業に興味があり、好きだった」ことから、19年前に農業者に。春から秋にかけて、ブロッコリーやキャベツ、てん菜などを栽培しています。

去年から伊達市特有の気候を生かし、冬野菜「ほうれん草」の栽培を開始。



色鮮やかなほうれん草

「街灯にも反応するので日照時間を調整したり、室温の調整も難しい。その反面、冬は虫が少ないので除草剤を使わずに栽培できる」と、順調に栽培が進められている様子うかがえます。「種まきから出荷まで手はかかるけど、その分手ごたえもある。愛情を持って育てれば」ところは子育てに似ているかも」と笑顔で話す姿には、農業に対する愛情が感じられました。

「これからは、多種類の野菜の中から1つを極めて伊達の特産品になるような野菜を作りたい」と力強く意気込みを話してくれました。多品種で全国的にも高い評価の伊達野菜。皆さんも新鮮な地元冬野菜はいかがですか。



道内各地に出荷されています

表紙のはなし



毎年この時期になると市内の幼稚園や保育所で行われている「火の用心もちつき」。今年は伊達幼稚園にお邪魔しました。お父さん・お母さんに手伝ってもらいながら、重たい杵を使って一生懸命ペタンペタン。完成後は、きなこやあんこをつけておいしくいただきました。

楽  
画  
記

■年齢を重ねるにつれて、時が過ぎるのを早く感じると思いますが、その言葉のとおりで、小学生の時にはとてつもなく長く感じた6年間に比べると、高校を卒業し、働き始めてからのこの6年間は本当にあっという間。思い返すと昨年はダラダラと生活していたような…。今年は時間をムダにしないように生活したいです。(た)

■新年ですね。やっと新調したスケジュール帳が使えます。今年は張り切っても使っているものより大きなものを選びました。まっさらなノートや手帳を買うのってとてもワクワクしますよね。しかし何事も問題は中身。まっさらなまま終わらないよう、今年はきちんと活用するという目標をまずは書き込みにします。(す)

■新しい1年が始まるその前にまず去年の反省を。新しいことへの挑戦と体重の減少を目標に掲げた1年。前者は年末に達成できたものの、後者は…。よし、過去にとらわれず新たな気持ちでまた頑張ろう！それに半分は達成できたし。ご褒美に何を食べようか。後者の達成には越えなければならぬ高い壁があります(と)

発行・編集 伊達市企画財政部企画課  
TEL 0142-23-3331 内線238・239  
FAX 0142-23-4414  
E-mail kounou@city.itate.hokkaido.jp  
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

とじて保存しましょう